

エコレールマーク認定商品のラインアップを拡大

エステー(株)は1946(昭和21)年、戦後間もない日本でエステー化学工業所として創業した。着物の虫食いに悩んだ創業者の体験をきっかけに防虫剤の開発から事業をスタート。1948年にエステー化学工業(株)として設立され、時代とともに社名を変えながら、今年創業80周年を迎える。

同社の強みは、ニッチ市場で独自性の強いブランドを展開していることだ。消臭芳香剤「消臭力」、冷蔵庫用脱臭剤「脱臭炭」、食品用防虫剤「米唐番」、衣類用防虫剤「ムシューダ」、除湿剤「ドライペット」など、各カテゴリーでトップシェアを誇る商品を多数扱っている。

マーケティングコミュニケーション本部の古池利行副本部長は「エステーが手掛ける日用品に共通するのは“空間の空気をかえる”という発想。この想いがコーポレートスローガンの『空気をかえよう』にも込められています。最近では、人口減少により日用品市場の成長が鈍化する中、ウェルネス事業

にも注力しています。例えば、香りで企業ブランド価値向上に貢献する“コーポレートフレグランス”などを手掛ける“かおりブランディングビジネス”や、健康経営支援など空間環境改善をお手伝いする“かおりソリューションビジネス”など、香りを通じて新たな価値のご提案に取り組んでいます」と説明する。



古池副本部長



九州工場で製造するエステーの商品

九州～大阪・埼玉を鉄道利用 31ftコンテナは往復で

国内の生産拠点は福島工場(いわき市)、埼玉工場(本庄市)、九州工場(北九州市門司区)、九州工場小倉事業所(北九州市小倉南区)の4カ所にある。

古池副本部長は「エステーでは、環境保護や社会貢献を企業の重要な責任と考えています。そのため、再生可能エネルギーの利用、プラスチック削減に向けたリサイクル素材・天然由来原料の活用、環境負荷を軽減するサプライチェーンの構築などに力を入れています」と話す。輸送では、外装箱の規格を見直してパレット積載時の荷姿をキューブ化し、積載効率を上げる取り組みや、他社との共同配送、工場直送



北九州(夕)へ向かう小倉運送のトレーラ



ラッシングボードを挟んで崩れを防ぐ



キューブ化で2段積みを実現。接触しないよう慎重に積載



エアバッグで後方の隙間を埋める



外装箱に印刷されたエコレールマーク



12ftコンテナに12パレットを載せる



西京運輸倉庫 大内専務取締役(左)、小倉運送 吉田取締役(右)と

による配送効率化などでCO₂排出量の削減を推進している。トラックから鉄道・船舶輸送への転換を図るモーダルシフトも積極的に進め、2008年に「エコシップマーク」、2015年に九州工場で「エコレールマーク」取組企業認定を取得した。



宮下工場長

九州工場の宮下章工場長は「九州工場と小倉事業所で製造した商品を九州工場に隣接する九州在庫センターに集約し、そこから各地に発送します。鉄道は過去に列車が度々遅れたことから利用を控えた時期もありましたが、現在は以前に比べて安定して運べているので積極的に使っています。埼玉在庫センター(深谷市)と近畿物流センター(大阪府大東市)向けで、北九州(夕)を起点に利用しています」と説明する。輸送手配などは、九州在庫センターの庫内作業を受託する西京運輸倉庫(株)と、トラックによる集配を担う利用運送事業者の小倉運送(株)が連携して行っている。

埼玉在庫センター向けは熊谷(夕)を着駅に週5便運行している。金曜は熊谷通運(株)の31ftコンテナ1個、その他の曜日は12ftコンテナ2個で出荷。近畿在庫センター向けは毎週金曜、大阪(夕)を着駅に12ftコンテナ2個で出荷する。

宮下工場長は「31ftコンテナは往復で活用しています。埼玉工場で製造した商品を積載して毎週水曜に熊谷(夕)を出発。金曜に北九州(夕)に到着後、九州在庫センターに荷物を届け、そのまま九州工場での生産品を積み翌月曜着で埼玉在庫

センターに届けるというサイクルです。九州流通センター(福岡県粕屋郡)は福岡(夕)の近くにあるので、そちらへの活用もできればよいのですが、その区間も鉄道を使うとリードタイムが1日延びるため、活用しきれないのが残念です。また、31ftコンテナには32パレット、12ftコンテナ2個には合計24パレットを2段積みにして積載します。31ftコンテナの活用を増やし、より効率的な輸送を目指していますが、現在はコンテナの確保が難しい状況です。JR貨物では増備を進めているとのこと、大いに期待しています」と語った。

エステーでは、埼玉工場から近畿在庫センター向けの出荷についても、31ftコンテナや12ftコンテナでの輸送増強を図っている。

エコレールマーク表示で選びやすい商品へ

九州工場で製造される「消臭力 トイレ用」と「ドライペット コンパクト」は、500km以上の長距離輸送で鉄道利用率30%超を達成し、エコレールマーク認定商品となっている。さらに2025年4月には、鉄道シェア65%を超えた「消臭力 Premium Aroma トイレ用」「消臭力 クリアビーズ イオン消臭プラス」が新たに認定された。「消臭力 Premium Aroma トイレ用」の外装箱には、エコシップマークに並んで同年の秋からエコレールマークのロゴも表記されている。

古池副本部長は「鉄道には主に重量のある“水物”の商品を載せていますが、その中でも商品を絞り込んで認定を取得しました。外装箱にエコレールマークを明示することで、お客さまが環境にやさしい商品を選びやすくなるよう後押しできます。九州工場・埼玉在庫センターはいずれも貨物駅まで10km圏内。この立地を生かし、鉄道輸送比率を一層高めていく考えです」と話した。